

161	離婚を慰められたときのお礼 改まった文例
<p data-bbox="1236 427 1278 936">謹啓 秋涼の候ご健勝のことと存じます。</p> <p data-bbox="1141 427 1230 1308">さて、先般野生の離婚に際しましてはご懇篤なるご芳情をたまわり、深く感謝申し上げます。</p> <p data-bbox="903 427 1129 1326">かような残念な結果を招きましたのはひとえに野生の不徳のいたすところで、誠に慚愧にたえませぬ。しかしながら、落胆や悔恨の底に身を沈めていることが、別れた妻子や自分に益するものではございませんので、ご忠告を胸に深く刻み、眉を上げて将来にまなざしを向けていくことにいたします。</p> <p data-bbox="852 454 893 1272">何卒今後もご指導くださいますよう、心よりお願い申し上げます。</p> <p data-bbox="805 454 842 712">略儀ながらお礼まで。</p> <p data-bbox="805 1234 842 1294">謹言</p>	